



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 町田 大知

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 町田 大知

【指導医】

聖路加国際病院 腎臓内科 藤丸 拓也

慢性腎臓病の方を対象とした採血検査値と骨折に関する研究

1.研究の対象

- ・ 2011年1月1日から2023年3月31日までに慢性腎臓病（CKD）と診断され、当院の外来に通院されている腎代替療法を導入されていない方

2.研究の目的・方法

- ・ 慢性腎臓病（CKD）の患者さんでは骨折のリスクが高いことが指摘されており、大腿骨頸部骨折を含む骨折は患者さんの生命予後に影響を与えます。健常者を対象とした先行研究では血液検査において血清マグネシウム（Mg）値が低いと骨折のリスクが高まるとされています。しかし、CKDかつ腎代替療法を導入していない患者さんにおいて血清Mg値で骨折のリスクを検討した報告はありません。今回、血清Mg値がCKDかつ腎代替療法を導入していない患者さんの骨折の発生率にどのように影響するかを調査することで、生命予後に影響する骨折の発生頻度を明らかにすることを目的としております。
なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

- ・ 調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年9月1日です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、血液生化学検査（血清マグネシウム等）、既往歴、内服薬等